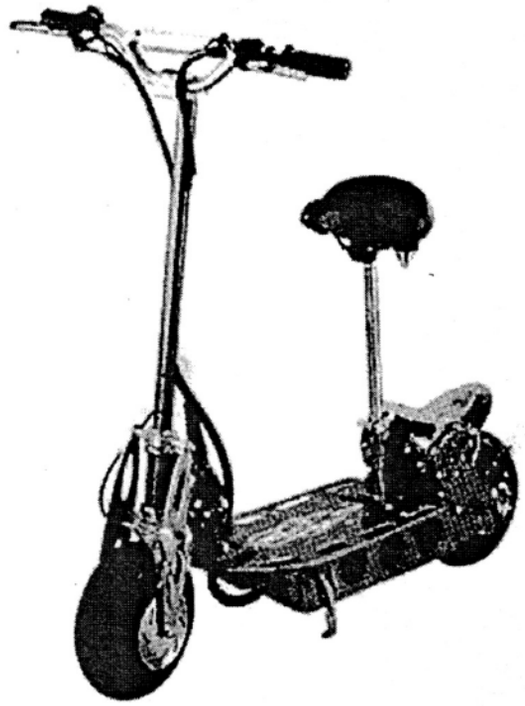
DEVIL3

型番:ZY-07i



対象年齢14歳以上

調整マニュアル

道路交通法を守り、安全運転を心掛けて下さい。
ご利用の際、ヘルメット、膝パッド、肘パッドの着用をおすすめ致します。

「ものづくりの原点　それは欲しいものを作ること」

TAKUMI WORLD® 匠ワールド

ご注文専用フリーダイヤル 0120-521-100
お問合わせ専用ダイヤル 050-5509-5123
FAXでご注文・お問合わせ 093-562-2751

〒803-0801
福岡県北九州市小倉北区
西港町72番地

パソコン http://www.takumiworld.jp/
モバイル http://www.takumiworld.jp/i/
メール http://www.takumiworld.jp/support/

匠ワールドご優待券
次回ご購入時に商品金額を
5%OFF
ご優待ナンバー
TW-19761003

Copyright(c) TAKUMI WORLD. All rights reserved

21 トラブルシューティング

Troubleshooting

異常を感じたら、こちらでご確認下さい。

問題	考えられる原因	解決方法
充電器のランプがすぐに緑色になる。	既に充電されている	不要
バッテリーを充電してもすぐに無くなる。長く使えない。	バッテリーの寿命	バッテリーを交換する
	充電器の機能不良	充電器を交換する
途切れ途切れに動く、又は非常に遅い。	バッテリーが少ない	バッテリーを充電する
	スロットルケーブルが緩い	ケーブルを締める
スロットルレバーが入った状態でキックボードが動かない。	スロットルケーブルが緩い	ケーブルを締める
	バッテリーが少ない	バッテリーを充電する
	バッテリーの寿命	バッテリーを交換する
走行中に突然止まる。	ヒューズが落ちている	電源スイッチをOFFにし、電気モーターが冷えるまで待ってから、またONにする

この表に無い症状の場合は、お電話を頂く前に下記サポートデスクをご確認ください。

http://www.takumiworld.jp/support/

上記URIにアクセスし
「よくある質問」→「商品についての質問」→「電動乗物についての質問」
をご参照ください。

安心サポート

お問い合わせ専用TEL:**050-5509-5123**

商品の不良に関しましては、商品到着から7日間以内にご連絡下さいますようお願い致します。
商品欠陥の場合すぐに交換、または返品を承らせて頂きます。

下記のような場合はお客様都合の返品とさせて頂きますので予めご了承ください。

・イメージ、乗り心地が違うなどの雰囲気による理由の返品
・小傷による返品
・サイト上の画像と実物の素材の色、風合いなどの違いによる返品
・出荷完了メール後のキャンセル

その他、届いた商品に不具合があった場合には、必ずご連絡頂けますようお願い致します。
お客様にご負担をかけない様最善の方法でご対応させて頂きます。

ソファーやチェアーなどインテリア輸入家具の専門店
SG SOFAGRAND®
会員登録数1万7千人突破!!
お気に入りの家具が必ず見つかる、新商品続々登場!
http://www.sofagrand.com/
http://www.sofagrand.com/i/
http://www.sofagrand.com/support/
ご注文:0120-512-300
ご質問:050-5527-9165
FAX:093-562-2751
ご家族・お友達にも使える割引ソファグランドの商品販売金額から5%OFF SG-19761003

Copyright(c) TAKUMI WORLD. All rights reserved

重　要

安全上のご注意

■ 電動キックボードＤＥＶＩＬ３（以下：本製品という）をご使用になる前に本マニュアルに基づき各部の調整を行ってください。
■ 工場出荷時には未調整の状態で出荷されております。
■ 本製品は海外からの輸入商品のため、長期輸送によりボルトなどに緩みが生じている場合があります。必ず初回走行前に各部ボルトを締めなおしてください。
■ 付属のツールキットはおまけ品となります。また海外製造品のためツールの精度に若干の誤差がある場合がございます。
■ 調整を行う前に必ず電源を切り、ヒューズを抜いた状態でアクセルを回し、完全に動かないことを確認した上で作業を行ってください。
■ 必ず軍手を着用してから作業を行ってください。
■ 調整はお客様ご自身の責任において行ってください。調整により生じたいかなる損害に対しても弊社は責任を負いかねます。
■ 本製品は、５００ワットモーター付きの高速スクーターです。スピードの出し過ぎにご注意ください。
■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■ ご利用前に当製品本体に貼ってある注意ラベルや印を必ずご確認ください。
■ 運転に慣れるまで時間がかかる場合がございます。走行やブレーキ、右左折、スピードなど、まずは安全な場所でよく練習してからお使いください。
■ 車が多い道路などで走行しないでください。
■ 人の多い場所で走行しないでください。
■ 本製品は玩具ですので公道を走らないで下さい。電動式のモーターにより走行する「電動スクーター」や「電動式キックボード」は、道路交通法並びに道路運送車両法上の原動機付自転車に該当します。原動機が内燃機関（エンジン）ではなく、電動機であっても、定格出力０．６０キロワット以下が原動機付自転車とされています。（道路交通法第２条第１項第１０号）
■ 視力、バランス感覚、反応神経、骨の強度、筋肉の強度が優れている方のみご利用ください。
■ 当製品は電動式です。雨、雪、海沿い、川沿い等、湿潤状態の場所で使用しないでください。
■ 本製品の使用に関する危険については、自己責任にてご利用ください。
■ 本製品はオフロード用ではありません。極限環境で使用しないでください。
■ 以上注意項目に従わない場合は、本製品に対する保証が無効になります。

バッテリーメンテナンス＆充電についてご注意

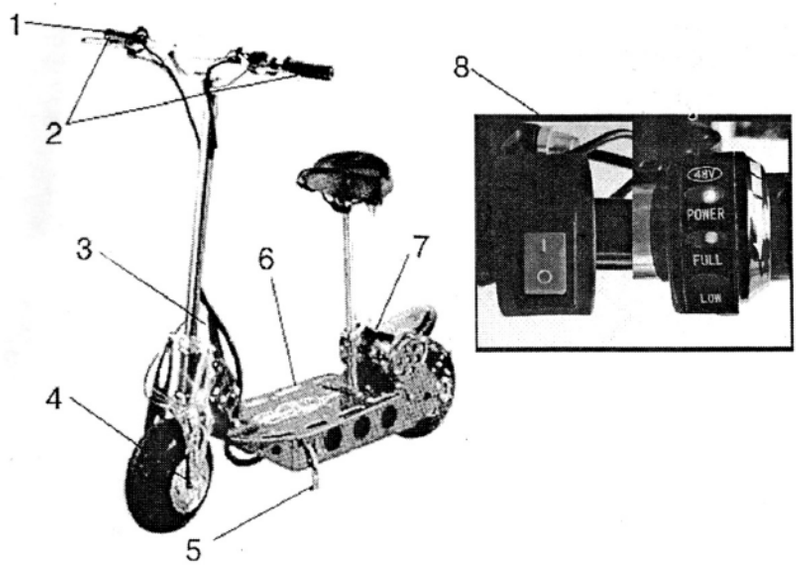
① 使用前に【必ず】完全に充電してください。（充電方法は、P5を参照）
② ご使用後、直ぐに充電してください。
③ 収納する前に必ず充電してください。
④ 長期間使用しない場合、３０日に一度必ず充電してください。
⑤ 充電機のライトは「緑」になってから、６～８時間充電してください。
⑥ バッテリー切れになるまで使わないでください。バッテリーが完全に無くなる前に必ず充電してください。
⑦ 安全のため、２４時間以上充電しないでください。
⑧ 充電する前に必ず電源を「ＯＦＦ」の状態にしてください。
⑨ 以上注意項目に従わない場合は、本製品に対する保証が無効になります。

目次/INDEX

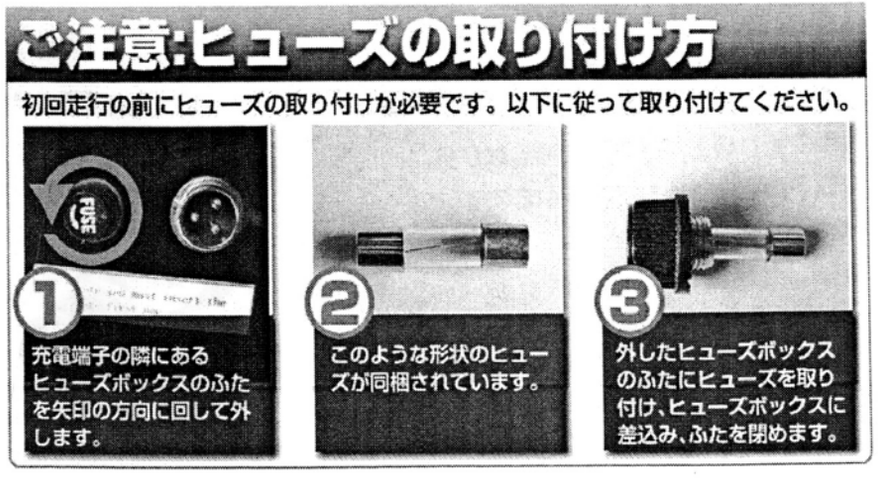
1. 使用する前にDEVIL3を知ろう！・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
2. ハンドルの取り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
3. キックボードの開き方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
4. 充電の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
5. キックボードの運転・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
6. 折りたたみ方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
7. 充電のシステム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
8. おすすめのツール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
9. ブレーキのキーキー音・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7
10. タイヤ＆ホイール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7
11. タイヤ圧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7
12. ヘッドユニットの調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7
13. チェーンの手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7
14. 前輪ブレーキの調整方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8, P9
15. 後輪ブレーキの調整方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P10, P11
16. チェーンの張りの調整方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P12
17. 後輪タイヤの空気圧の調整方法・・・・・・・・・・・・・・・・・P13
18. サドルの傾きの調整方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P14
19. サドルの取付金具の調整方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・P15
20. ヒューズソケットの緩みの調整方法・・・・・・・・・・・・・・・P16

1 使用する前にＤＥＶＩＬ３を知ろう！

devil 3



① アクセルレバー	⑤ キックスタンド
② ブレーキレバー	⑥ プレート
③ 折り畳みハンドル	⑦ 500W電気モーター
④ ディスクブレーキ	⑧「On／Off」スイッチ付きのパワーパネル

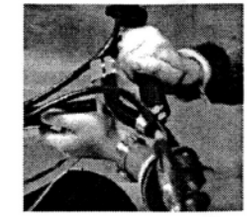


2 ハンドルの取り付け

handle

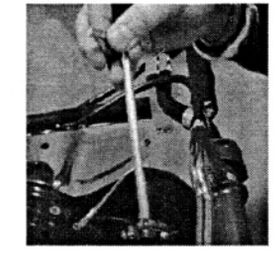
① ハンドルを本体に差し込みます。
（参照　画像.１）

画像.1



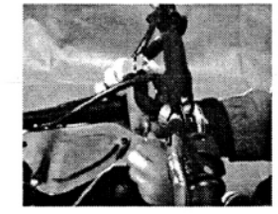
② 付属の六角レンチを用意します。
（参照　画像.２）

画像.2



③ しっかりと締め付けます。（参照　画像.３）
あまりに強く締めすぎると、ネジが破損する場合がございます。お気をつけ下さい。

画像.3

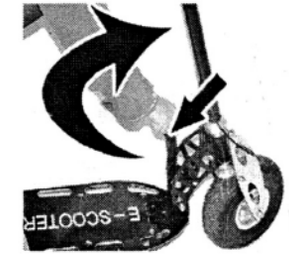


3 キックボードの開き方

scooter open

① 片手で折り畳みバーを下に押しながら、ハンドルをゆっくりと上に引きます。
（参照　画像.３）

画像.4



② ハンドルを右上の位置に、「カチ！」というロックが掛った音がでるまで完全に伸ばします。

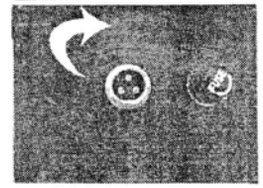
4 充電の方法 charge method

本製品が届いた際に充電済みであっても、使用する前に６～８時間充電しておくことをおすすめ致します。
使用後及び収納前に充電することもおすすめ致します。

ご注意：バッテリー切れになるまで使わないでください。
バッテリーが完全に無くなるまで使うと、バッテリーが壊れる恐れがあります。

① 電源がＯＦＦになっているか、確認します。
② 安全カバーを時計回りに回して、充電プラグを開きます。（参照　画像.5）
③ ＡＣ充電機（ＡＣ　ＣＨＡＲＧＥＲ）のプラグをコンセントに差し込みます。（赤いランプは緑に変わります）
④ 充電機を充電プラグに差し込み、回して固定します。
⑤ 充電機のランプが緑に変わったら充電は完了です。
（もしランプが直ぐに緑に変わった場合、工場での検品の際の充電です。緑のまま続けて６～８時間充電してください）

画像.5

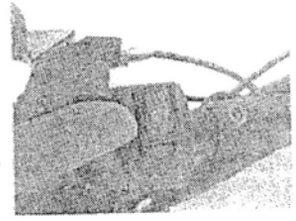


PERCENT	COLOR
75%-100%	GREEN
0%-75%	RED

5 キックボードの運転 driving of scooter

① 運転する前に、全てのねじやボルトをもう一度確認して下さい。
電源ボタンを「ＯＮ」にしますと緑のランプが点灯します。（参照　画像.6）
これで運転の準備はＯＫです。

画像.6



ご注意：１０～１５動かないと、自動的にＯＦＦになります。その場合、電源スイッチをまずＯＦＦにして、数秒待ってからまたＯＮにして下さい。

② 片足をプレートに乗せて、もう片足でキックしながらアクセルレバーをゆっくりと絞るとキックボードが自力で走ります。

本製品は可変速式スロットルレバーが付いています。スロットルを回すことによって、キックボードのスピードが変化します。
強く回すほどスピードが上がります。

止めるには、アクセルレバーから手を放して、ブレーキレバーを押します。（ハンドルの右と左）ブレーキレバーを押すと、モーターへのパワーが切れます。ブレーキを掛けなくても、モーターにパワーがない、スピードが上がらないなら、バッテリーの充電が切れた印です。

6 折りたたみ方 fold scooter

使用した後、折り畳んで収納できます。折り畳む前に次の点をご確認下さい。
■ 充電する
■ 電源スイッチをＯＦＦにする
■ 充電機を外す

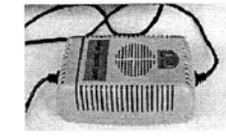
画像.7

折り畳み方法：
片手で折り畳みレバーを引き戻して、もう片手でハンドルをゆっくりと「カチ！」というロックが掛った音がでるまで下方へ押す。（参照　画像.7）
（ご注意：ハンドルが頭にあたる可能性があります。ご注意下さい！）

7 充電のシステム system of charge

安定化した４８Ｖ充電機（チャージャー）が付いています。（参照　画像.8）

画像.8



8 おすすめのツール recommendation tool

キックボードのメンテナンスや手入れの為に次のツールをおすすめ致します。
■ ３／４／５／６mmの六角棒スパナ
■ １０／１３／１４／１７mmオープン&リングスパナ
■ フィリップス型ドライバー
■ オイル（例：ＷＤ４０）

9 ブレーキのキーキー音 allophone of brake

ブレーキをかけると、「キーキー」という音が出る場合がありますが時間が経ったら無くなります。運転やパフォーマンスに影響ありません。

10 タイヤ&ホイール tire & wheel

前と後ろのタイヤとリムは同一の物なので、交替は可能です。
取り付けやすくするために、半分に切断されたリムを2つ使っています。（スプリット・リム）
タイヤのすり減りは、使用された環境、使用者の体重、使用時間などによって変わります。交換の際は、お近くのスクーターショップにお問い合わせ下さい。

11 タイヤ圧 titre pressure

タイヤ3.00-4で、最高空気圧は６０ＰＳＩです。
ホイールのボルトを外して、リムを取り外す前にタイヤの空気を完全に抜いて下さい。

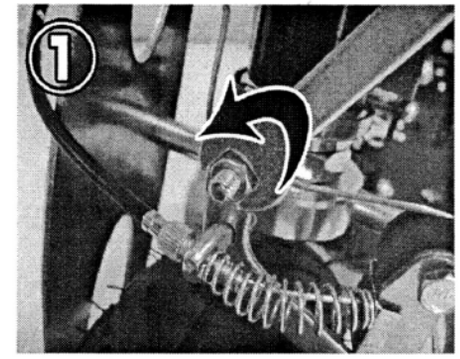
12 ハンドルと本体の接続部調整 head unit adjustment

ハンドルと本体の接続部は、時間がたつにつれて、でこぼこの地面や一般使用でゆるくなることがあります。その場合次のように調整を行って下さい。
① 接続部が見えてくるまで、ハンドルを右に曲げて下さい。
② 大型モンキーレンチで下のロックナットを緩めて、上のロックナットを締めて下さい。下のロックナットを締めてください。（締め過ぎないようにご注意下さい。右左折が難しくなり、軸受が壊れる恐れがあります）

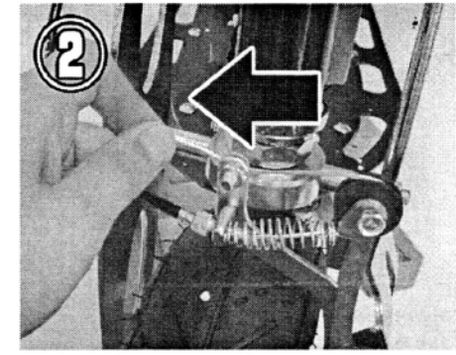
13 チェーンの手入れ maintenance of chain

定期的にグリースやチェーンスプレーで注油してください。チェーンワックスは使わないで下さい。長い期間注油しないまま使用すると、チェーンが壊れやすくなります。

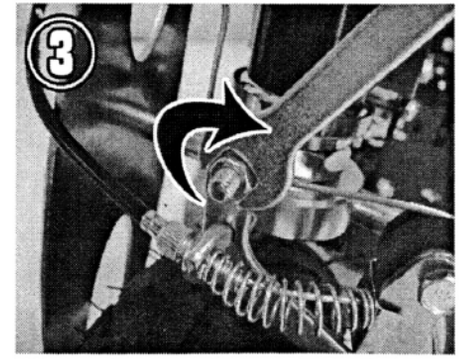
14 前輪ブレーキの調整方法 front brake



10mmスパナでブレーキワイヤーを固定しているボルトを緩めます。



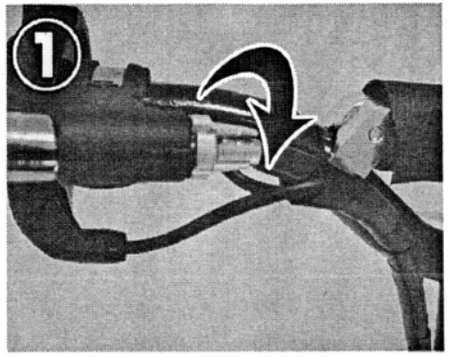
ワイヤーを矢印の方向に引くとブレーキパッドが締まります。



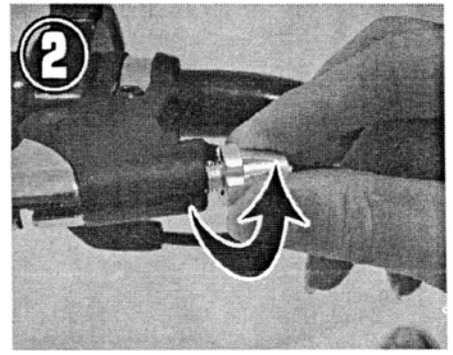
「ワイヤーを引いたまま」固定ボルトをしっかりと締めつけてください。

前輪ブレーキの調整方法(続き)

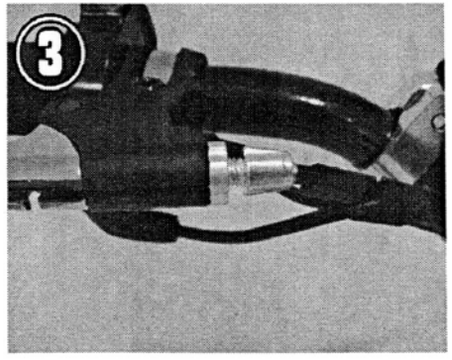
front brake



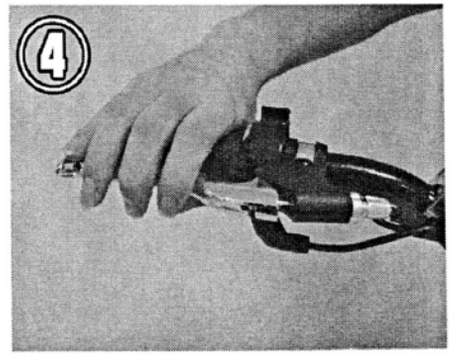
ブレーキレバーの調整ボルトを、ナットごと矢印の方向に回していくと、ブレーキのかかりが強くなります。



ボルトは動かさずにナットのみを矢印の方向に回します。



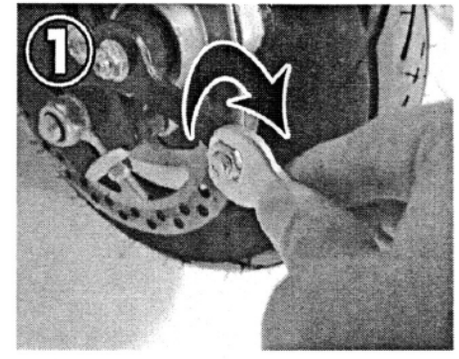
上図のような状態になります。



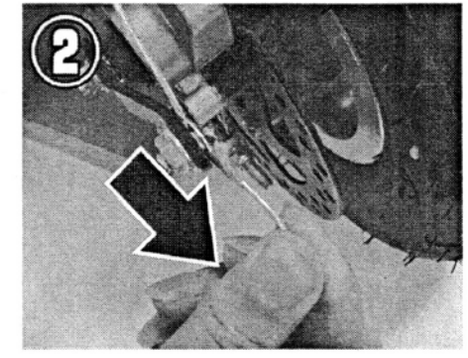
ブレーキレバーを握り、ブレーキのかかり具合を確認してください。弱い時は再度①から繰り返してください。

15 後輪ブレーキの調整方法

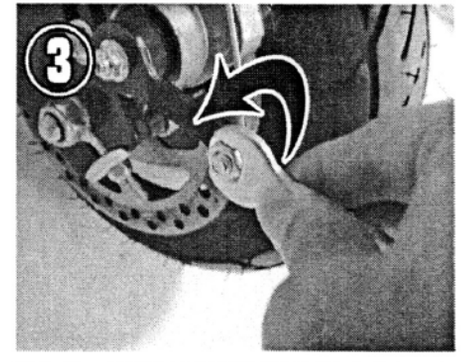
rear brake



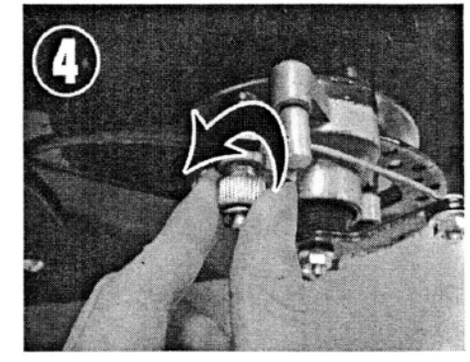
10mmスパナでブレーキワイヤーを固定しているボルトを緩めます。



ワイヤーを矢印の方向に引くとブレーキパッドが締まります。



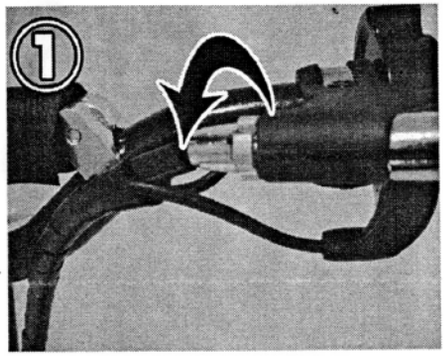
「ワイヤーを引いたまま」固定ボルトをしっかりと締めつけてください。



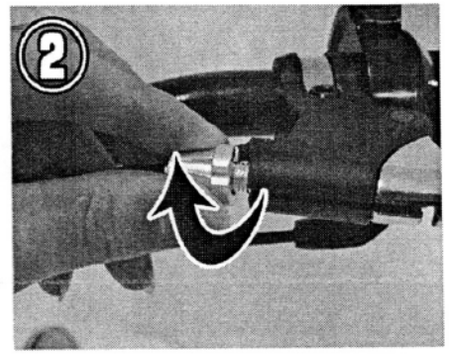
キャリパー部の調整ボルトを矢印の方向に回していくとブレーキのかかりが強くなります。

後輪ブレーキの調整方法（続き）

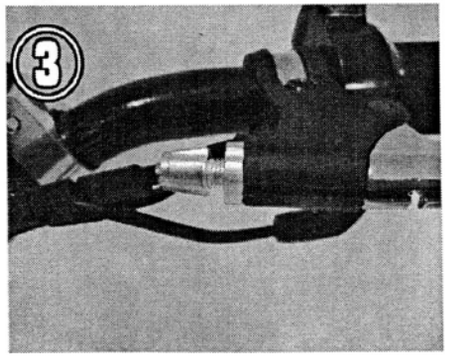
rear brake



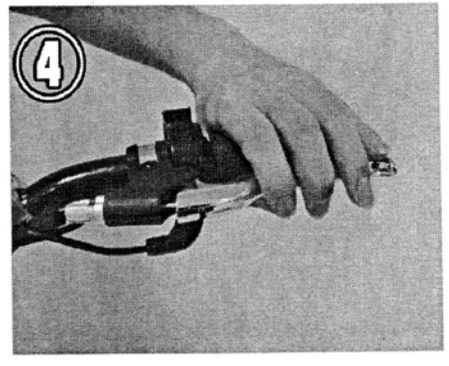
ブレーキレバーの調整ボルトを、ナットごと矢印の方向に回していくとブレーキのかかりが強くなります。



ボルトは動かさずにナットのみを矢印の方向に回します。



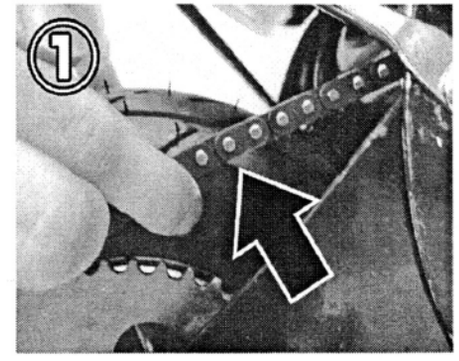
上図のような状態になります。



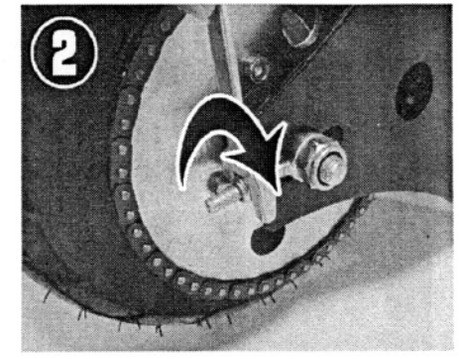
ブレーキレバーを握り、ブレーキのかかり具合を確認してください。弱い時は再度①から繰り返してください。

16 チェーンの張りの調整方法

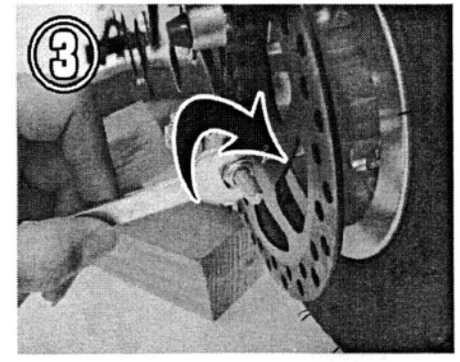
chain



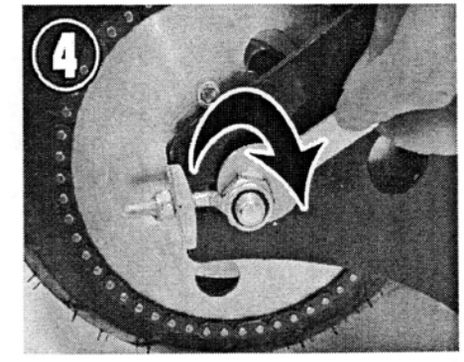
チェーンを指で持ち上げてみてあそびが10mm以内になっているか確認してください。



10mmスパナでチェーンアジャスタのボルトを矢印の方向に回してください。



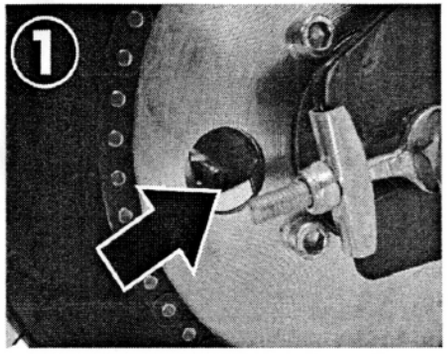
チェーンと反対側のアジャスタも同様に矢印の方向に回して締め込んでいきます。



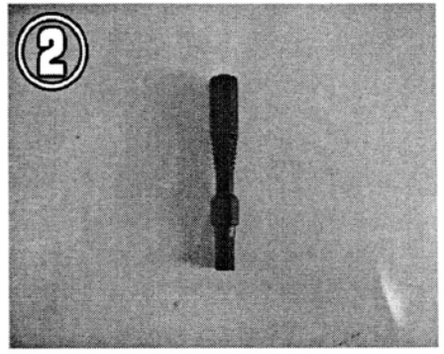
あそびが10mm以内に収まったことを確認し17mmスパナでハブナットをしっかりと締め付けます。

17 後輪タイヤの空気圧の調整方法

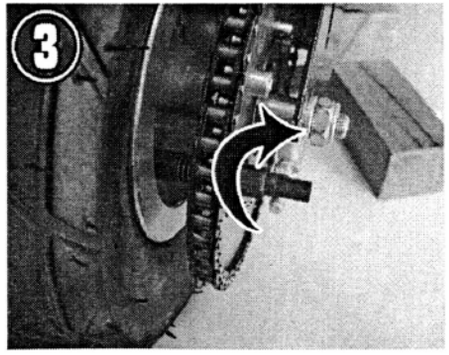
rear tire air



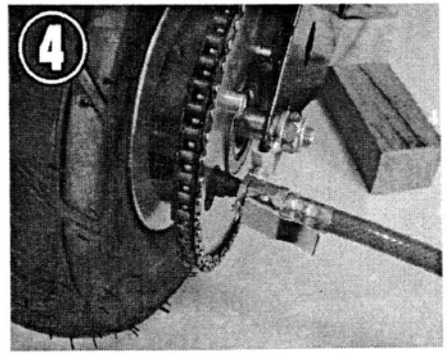
バルブの先端とスプロケットの穴が直線になるようにタイヤを回してください。バルブ形状は米式バルブになります。



後輪に空気を入れるには、付属のバルブエクステンションを使用します。



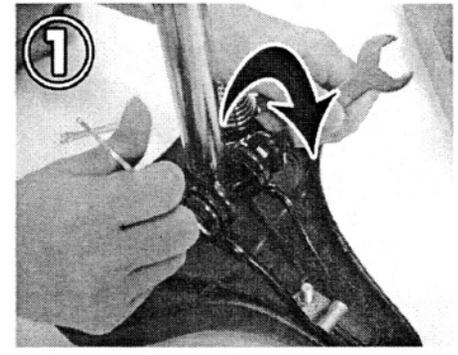
バルブエクステンションをスプロケットの穴に通し、バルブに締め込んでいきます。



しっかりと締めこまれたことを確認し、空気を入れます。空気が入らない場合は何度か締め付け直してみてください。

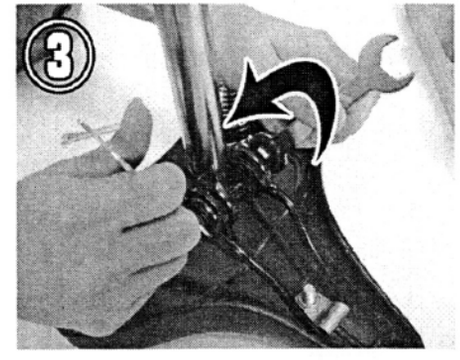
18 サドルの傾きの調整方法

saddle



17mmスパナでサドル軸を固定するボルトを緩めます。

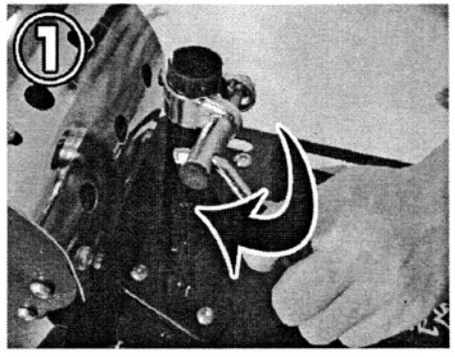
軸を持ち、お好みの傾き角度になるまで軸を倒します。



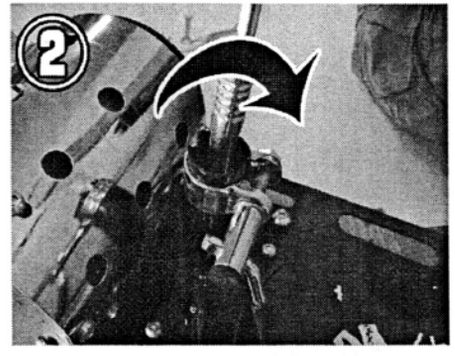
17mmスパナでサドル軸を固定するボルトを軸が抜けたり回転しないようにしっかりと締めます。

19 サドル取り付け金具の調整方法

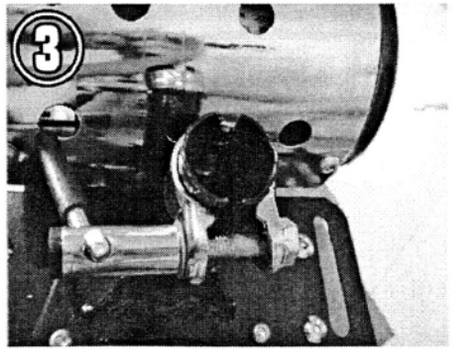
saddle



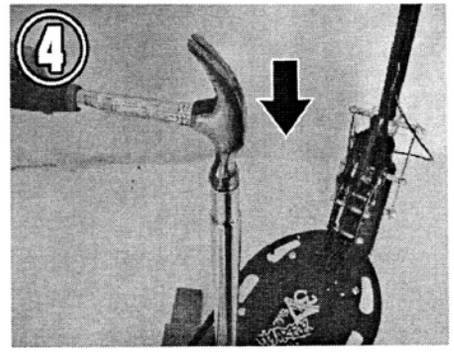
サドル軸が軸受け金具に入らない場合は、軸受金具の締め付けボルトを矢印の方向に回転して緩めます。



金属のスパナの柄等で軸受金具の穴の径を少しずつ広げていきます。



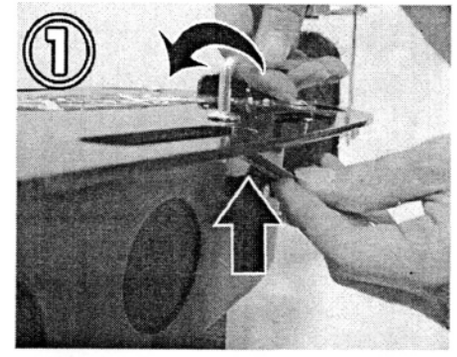
サドル軸が入るまで広げます。



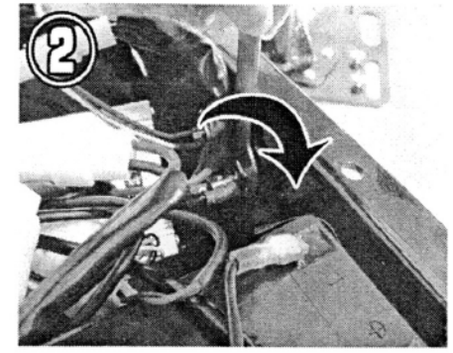
それでも入りづらい場合は、軸の先端をハンマー等で軽く叩いて入れてください。

20 ヒューズソケットの緩みの調整方法

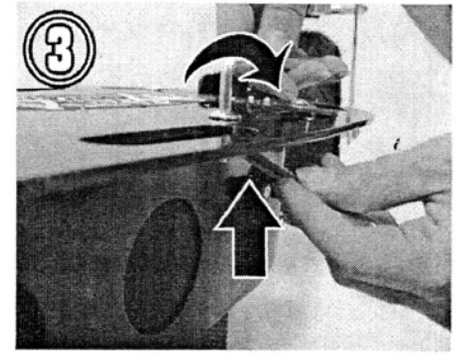
fuse socket



五インチ六角レンチと10mmスパナでステップを固定しているボルトを緩め、ステップを外します。



ステップ内部のヒューズソケットを固定しているボルトを矢印の方向に回し、締め付けます。



五インチ六角レンチと10mmスパナでステップを固定しているボルトを締め、ステップを取り付けます。